

2010年8月18日 第36期 No. 5-410号

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.com/>

バス見学のお誘い

- 目的 *スィートソルガムからバイオエタノールを作る研究を見学、お話を聞く。
*アウトレットの市場見学。
*予科練平和記念館

出発 9月28日(火) 9時10分
行先 茨城大学農学部生物生産科学科
新田教授のお話と圃場見学等
阿見町アウトレットで食事と市場見学
食事代は自己負担
予科練平和記念館

費用 予科練平和記念館入場料 500円と
昼食代

先月もお知らせしましたが、今年度1回目のバス見学会を行います。

先月のお知らせ後、「折角阿見町まで行くなれば、今年2月に開館した予科練平和記念館へ足を延ばしたい」というご提案をいただきました。

「予科練」を知っていらっしゃいますか？

「海軍飛行予科練習生」制度のことで、第一次世界大戦後、航空機の需要が高まり、14歳半から17歳までの少年に基礎訓練をしたところです。戦争末期には特別攻撃隊として出撃した人も多く、戦死者は1万9千人にのぼりました。

16日に終わった「戦争資料展」にも予科練の制服が展示されました。少年のもので、小さい制服に「こんな小さい人が？」と、改めて戦争の非情を思いました。

すでに申込まれた方もありますが、参加希望の方は和田へ。

熱中症にご注意

梅雨明けから一挙に始まった猛暑、どこまで続くのでしょうか。水分をマメに採ること、寝る前にも水を飲むこと等々、注意されているながら、熱中症で亡くなった方が今年はたくさんいらっしゃいます。

ある熱中症で亡くなった方は、高齢でエアコンは故障、窓を開けると積んである紙類が飛ぶので、締め切って寝ていらしたのではないかと、隣に住む妹さんのお話だったとか。

9月の勉強会「身辺整理」にもつながることになりそうです。

9月定例会

9月13日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター8F 第2会議室
定例勉強会として「身辺整理のノウハウ」
栗原洋子さんの知恵を教えてください。
是非多くの方のご出席をお願いします。

平和事業報告

1 平和への祈り「戦争資料展」

8月2日から16日まで、アビスタで行われました。太平洋戦争ばかりでなく、その前の日露戦争や日中戦争の写真も市民から提供されました。23歳の方の遺書、かみそりの刃の包装紙の裏に細かい字で書かれた遺書等、無念の思いがヒシヒシと伝わる展示品もありました。日の丸の出征祝に、参議院副議長をされた加瀬完氏のお名前もありました。

これらの貴重な遺品を失わないためにも、市で一括預らせていただく話が具体化しそうです。アンケートにも毎年開いて欲しいと

の要望が多くありました。

2 祈念式典

14日の我孫子市平和祈念式典は、濱田さんの峠三吉の詩の朗読で始まり、派遣中学生の報告もありました。参加者が一輪ずつ献花し、式を終えました。

12時から「すいとんを食べて平和を考える」。戦中・戦後のすいとんと現代のすいとん各100食を食べ比べてもらいました。すいとん作りは消費者の会のボランティア作業。前日の下準備も含めて、延べ22名、公募の小学生8人が作りました。

戦中・戦後のすいとんは、手賀沼ファームのサツマイモのツルと葉を入れました。全粒粉もファームの小麦をひいていただきました。煮干しのダシがよく効いて、とても美味しいものになりました。

食べた方から「美味しすぎる」「もっとまずいすいとんだった」等の感想ばかりでしたが、現在の平和の中で食べられる幸せは、それぞれに感じていただけたかと思えます。

3 広島報告

5日から7日まで、中学生6人と引率者2人に、消費者の会から木田さんと和田が同行しました。

テレビでご覧になった方も多いと思いますが、今年は式典に国連の潘基文事務総長、アメリカ駐日大使を始め、世界74カ国の要人も参列され、65年経ってやっと「世界のヒロシマ」になったと思えました。核廃絶への希望が感じられた式典でした。

今年は55,000人が参加したと発表されました。被爆体験者お二人と胎内被爆者お一人からお話も伺いました。例年の通り、広島と長崎の市長の平和宣言を裏面に載せます。改めてお読みください。

6日夜のとうろう流しではテレビの取材を受けました。中国新聞の記者からも取材され、7日の朝刊に下記の記事が載りました。

「千葉県我孫子市の和田三千代さん（75）は、父を原爆で失った。「核兵器の廃絶に希望が見えてきた。子どもたちに平和な未来が訪れるよう活動していく」と、とうろうを水面に浮かべて手を合わせた。」

県民提案事業

今年も提案事業に応募して、紀藤正樹弁護士の講演会を行えることになりました。

日時 11月13日（土）13:30～16:00

テーマ 「多発する消費者被害とその救済」

場所 アビーホール

紀藤正樹弁護士は、消費者被害の救済に深く関わり、大きな事件の訴訟で弁護団長を務めていらっしゃる「消費者の味方」です。

まだ先のことですが、是非予定に入れてください。

なお、もう一つ提案事業として申請していた「緑のカーテンの講習会」は採択されませんでした。

高齢社会への対応を探る会の催し

（予告）

今年度の高齢社会への対応を探る会の講演会は、10月2日（土）午後、けやきプラザ・ホールで開きます。

講師は淑徳大学准教授 結城康博氏

毎日新聞社から「介護の値段 老後を生き抜くコスト」という本を出していらっしゃいます。詳細は9月号でお知らせしますが、是非ご参加ください。

「在宅福祉サービスまどか」から

会員の中丸陽子さんのNPO法人「まどか」から市民向けに公開している講演会等のご紹介がありました。

①地球温暖化を救おう 9月29日（水）

15時30分から17時。まどか会議室

講師 小林正美 筑波大准教授

②相続の基礎を学ぼう 10月29日（金）

16時から17時10分

講師 佐野安成氏

不動産など分けにくい物はどうすればよいか 申込みは7181-2567 まどかへ。



65周年の平和事業のうち夏のものが16日で一段落しました。11月20日には派遣中学生の報告会があり、年度内に文集と、小・中学生用の副読本が出来る予定です。